

平成16年11月16日
(社)日本物流団体連合会

施設見学会を開催(中部国際空港)

(社)日本物流団体連合会は平成16年11月12日、中部圏の新しい空港として来年2月17日に開港予定の中部国際空港(セントレア)の見学会を開催しました。会員企業・団体から68名の参加者がありました。

中部国際空港(セントレア)は、国際線と国内線との乗り継ぎの重視、当初予算を下回る建設費用など話題の多い空港であり、物流面においても、名古屋空港の2倍を越える貨物取扱能力、24時間オープン、総合保税地域制度の適用、フルロードのフレイターが離着陸可能な3,500mの滑走路など、非常に興味深く将来が期待される空港であります。

見学会では、完成まじかの貨物地区や総合物流地区を中心に国際エアライン上屋の見学や建設中のフォワーダー上屋などについて説明を受けました。特にセントレア貨物地区の特徴として、間口の広い貨物上屋前での貨物の積み降ろし、輸出入貨物を同じスペースで取り扱うことによる低コスト化、十分な広さのトラック待機場による渋滞・停滞の解消などにより、1.リードタイムの短縮 2.コストの削減 3.利便性の向上 4.将来対応 などが見込めるとのことで、中部国際空港(セントレア)は、中部圏の空の新物流拠点として、各方面から大きな期待が寄せられているとのことでした。

今回は定員を超える申込があり、会員企業・団体の関心の高さがうかがえる見学会でした。

写真がご入用の場合は、事務局までご連絡ください。

担当 萩島・慶谷
電話 03-3593-0139